

通信教育部 総合情報学部 システム情報学科 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 育成すべき人材像

情報社会で価値ある情報を見極める能力を高め、国際的な視野と感覚を持った人材を育成するとともに、情報社会で求められているあらゆる分野において利用されるシステムの開発にかかわるソフトウェア技術者、および情報技術に関する知識とスキルを応用して問題解決を図り、社会に貢献できる人材を育成します。学生が身につけるべき能力①～⑥に対応させた育成すべき人材像を示します。

①生涯にわたって自ら主体的に学ぶ力

- ・学ぶ意義を理解できる人材。
- ・目的意識を持ち、主体的に考え、新しい知識や技術を学ぶことができる人材。

②IT社会に役立つ高度な情報技術と専門知識

- ・情報システムの設計・構築・運用に関わる幅広い知識と技術を有し、システムエンジニアとして活躍できる人材。
- ・ネットワーク、セキュリティ、データベースなどの技術に詳しく、さまざまな分野で活躍できる人材。
- ・人工知能、機械学習に関する知識と技術を身につけ、データサイエンティストとして活躍できる人材。
- ・宇宙情報と情報通信技術の知識と技術を身につけ、社会のさまざまな分野で活躍できる人材。
- ・情報技術と経営の専門知識を活用して、経営やマネジメントの分野で活躍できる人材。
- ・情報や数学において教員として従事できる人材。

③国際感覚やモラルなど豊かな人間性

- ・異文化を理解し、国際感覚に優れた人材。

④コミュニケーションとプレゼンテーション能力

- ・市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人材。
- ・事実・データ・知見・意見を論理的かつ相手に理解させる形でまとめたり発表したりすることができる人材。
- ・チームの目的達成のために様々な人々と協働することができるコミュニケーション力のある人材。

⑤自ら問題を見つけ出し、その解決のために情報技術を活用し、自身で工夫できる問題発見・解決能力

- ・システムエンジニア、AI、ネットワークセキュリティ、宇宙情報の知識や技術を生かし、課題を発見して解決できる人材。

⑥知識のみではなく生きるための知恵

- ・物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えた人材。
- ・情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えた人材。

2. 学位授与の方針

所定の単位を修得したこと、すなわち、育成すべき人材像に対応して定めたコンピテンシーを身につけ、育成すべき人材になっていると認めた学生に「学士（総合情報学）」を授与します。